

北陸大学スケジュール等

HP	https://www.hokuriku-u.ac.jp/index.html
受入が難しい日程	一般入試A時期（2月頭）

連絡事項：

No.	講座名	講座の概要	講師名	備考	受講者数について	オンライン対応	中学生対応
●薬学部/薬学科							
1	食卓から考える家族の健康 —栄養って面白い—	「五大栄養素」という言葉はよく耳にするが、「栄養って何?」、「何のために食事をするのか?」じっくり考えたことがないのでは?薬剤師が教える健康に直結する栄養学! 知らないより知っていることで得する「健康寿命」を延長するコツを学んで家族の健康と幸せを考えよう。	宇佐見 則行	・プロジェクター ・スクリーン使用 ・PC持参 10月中旬～11月中旬の火・水・木は実習のため開講は難しい		可	可
2	社会で活躍する薬剤師	薬剤師は薬局やドラッグストア、病院、医薬品卸、製薬メーカー、化粧品メーカー、厚生労働省、地方自治体、警察、自衛隊、大学など、社会の様々な場所で活躍しています。また地震など災害時に医療支援もおこなっています。薬剤師はそれぞれの場所でのどのような仕事をし、災害時にはどのような支援をしているのか、さらに薬剤師になるため薬学部でのどのような勉強をするのか紹介します。	大柳 賀津夫	・プロジェクター ・スクリーン使用 ・PC、ポインター持参 9月～11月の火・水・金曜日は教務のため開講は難しい		可	可
3	医薬品のプラモデルを組み立ててみよう!	物質を構成する分子は「立体的な形」を持っています。しかし、教科書等に載っている構造式を見ていただけでは、その「立体的な形」がなかなか実感できません。本講座では、医薬品を題材に、分子のプラモデル(分子模型)を実際に組み立ててみることで、その立体構造を実感してもらいます。さらに、医薬品の立体構造が、その作用とどのように関わっているのかも学びます。	木藤 聡一	・プロジェクター ・スクリーン使用 ・PC持参 ・受講者数分の分子模型と説明用資料を持参又は送付		可	可
4	薬学の学び	医療の高度化や少子高齢化、新薬開発、データサイエンスなど、薬学を取り巻く環境は急速に変化し、薬剤師の役割はより臨床の核心へと深化しています。2024年度から医学・歯学教育と一部共通化した新しいモデル・コア・カリキュラムでの教育が全国の薬学部において一斉に始動しました。未来の社会や地域を見据え、様々な変化や役割に対応するための薬学部での学びの特徴を紹介します。	小藤 恭子	・プロジェクター ・スクリーン使用 ・PC持参		可	可
5	ポリフェノールでいつまでも若々しく	「ポリフェノール」、「抗酸化作用」聞いたことありますか?植物に含まれる成分で、数千種類あると言われ、健康効果や美容効果が知られています。このポリフェノールには「抗酸化作用」があると言われています。本講座では、「ポリフェノールの化学構造」、「抗酸化作用とは」から始まり、ポリフェノールの一種であるフラバノンの効果について紹介していきたいと思っています。	鈴木 宏一	・プロジェクター ・スクリーン使用 ・PC持参		可	可
6	お薬はなぜ効くの?	風邪をひいたら風邪薬、頭が痛いときは頭痛薬、下痢をしたら下痢止め。。。薬を飲んで症状が回復した経験を、皆さんきっと持っていることでしょう。では、なぜ薬は効くのでしょうか?私たちの体の中で起きていることを、身近な薬を例に分かりやすく紹介します。	松尾 由理	・プロジェクター ・スクリーン使用 ・PC持参		可	可
7	漢方パワーで受験を乗りきる	心身をベストな状態に保つことは簡単ではありません。夜遅くまで勉強したり、ストレスや運動不足などで、健康体は容易に崩れてしまいます。漢方は人間の全体像を見ることが基本です。今すぐできる身近な漢方で健康を維持し、受験を乗りきってください。	劉 園英	・プロジェクター ・スクリーン使用 ・PC持参		可	可
8	薬剤師の職能と災害対策(仮)	モバイルファーマシーの見学などを行い、薬剤師の職能と災害対策について知ってもらおう。	高野 克彦 石川 和宏 野村 政明 大柳 賀津夫 岡田 守弘	モバイルファーマシーが出動中でないことが前提となるので、事前にお問い合わせください。		不可	可
9	コンピュータシミュレーションで見る生体分子の世界 -コンピュータ創薬への挑戦-	私たちの体内には無数の生体分子が存在し、相互作用しあう事で生理機能が決定します。スーパーコンピュータを用いた生体分子のシミュレーションはこれを解き明かす重要なツールとなっています。タンパク質などの生体分子は体内でどのように存在し、機能するのでしょうか?シミュレーションによって見える世界について紹介します。	齋藤 大明	・プロジェクター ・スクリーン使用 ・PC持参		可	可

No.	講座名	講座の概要	講師名	備考	受講者数について	オンライン対応	中学生対応
●医療保健学部/医療技術学科							
10	高校生と「がん」	近年、「子宮頸がん」は、若い女性に増えており、大きな問題になっています。がんの原因や予防について、がん細胞の写真をみながらお話しします。	佐藤 妃映	・プロジェクター ・スクリーン使用 ・PC持参		可	可
11	愛玩動物とヒトのかかわり ー垂れ耳うさぎと 立ち耳うさぎとの共同生活ー	現代社会におけるストレスに対応するために、「愛玩動物と人のかかわり」が以前からアニマルセラピーとして重要視されています。講演では、我が家で生活を共にしている10羽のうさぎさんたちについてお話しできればと考えています。特に5羽については、出産から人工飼育までの経験談や、小動物を飼育する上での注意点について解説できればと考えております。	清水 慶久	・プロジェクター ・スクリーン使用 ・PC持参		応相談	可
12	認知症 どんな病気？ なぜなるの？	増加している認知症および軽度認知障害への正しい理解を解説し、患者さんを囲む環境の大切さをお話しします。	油野 友二	・プロジェクター ・スクリーン使用 ・PC持参		可	可
13	腎臓の働きは？ 透析療法って何？	腎臓の働きを解説し、腎臓病予防における尿検査の重要性とともに末期腎不全での透析療法の概要を分かりやすく解説することで、発症予防の必要性を考えていただきたい。	油野 友二	・プロジェクター ・スクリーン使用 ・PC持参		可	可
14	伝えずにはられない！ メディカルプロフェッショナルの 真実	現代の医療において、「検査」は欠かせない情報の一つです。病院や健康診断で行ってる検査は、皆さんの身体の情報可視化しています。その多くの検査を担っているのが臨床検査技師です。医療業界での臨床検査技師の重要性やメディカルプロフェッショナルとしての心構えについて、丁寧にお伝えします。是非私のお話を聞いて臨床検査の「沼」に嵌ってください。	石崎 一穂	・プロジェクター ・スクリーン使用 ・PC持参		可	可
15	血液が固まるしくみと 出血・血栓の病気	血液は、組織に酸素や栄養を運ぶため、全身に張り巡らされた血管内を絶えず循環しています。その一方で、怪我や手術などで出血した際には、血液は速やかに固まり、止血します。このダイナミックで不思議なしくみについて知るとともに、その異常がもたらす病気について学びましょう。	關谷 暁子	・プロジェクター ・スクリーン使用 ・PC持参		可	可
16	病院や健康診断で検査を行う 臨床検査技師	健康診断や病院での受診時には、さまざまな検査が行われます。尿の提出や採血を経験したことがある方も多でしょう。臨床検査技師は、正確で精密な検査を実施していますが、どのようにしてそのような検査が実現できるのかを、身近な例を用いながらグループワークを通じて考えてみましょう。	滝野 豊	・プロジェクター ・スクリーン使用 ・PC持参		可	可

No.	講座名	講座の概要	講師名	備考	受講者数について	オンライン対応	中学生対応
●医療保健学部/理学療法学科							
17	理学療法士の仕事	リハビリテーション専門職として従事する理学療法士の実際の仕事内容を紹介しします。最近では、リハビリテーションだけでなく、地域医療、スポーツ現場、保健領域など多岐にわたる社会的役割を担っています。そのような実例も交えて講義します。	野口 雅弘	・プロジェクター ・スクリーン使用 ・PC持参		可	可
18	リハビリテーションに必要な解剖学の知識	解剖学では、身体の構造を学びます。リハビリテーションに役立つ解剖学の知識をご紹介します。	金澤 佑治	・プロジェクター ・スクリーン使用 ・PC持参		可	可
19	アスリートを支える理学療法士 — ケガを防ぎ、パフォーマンスを高める身体の仕組み —	理学療法士は、病院の中でのリハビリテーションだけでなく、スポーツ選手のケガ予防や競技復帰、パフォーマンス向上にも関わる専門職です。本講座では、スポーツに活かせる身体の仕組みをわかりやすく紹介しながら、理学療法士がアスリートをどのように支えているのかを紹介します。	宮地 諒	・プロジェクター ・スクリーン使用 ・PC持参		可	可
20	大切な家族を守るための転倒予防 ～理学療法士の視点から～	転倒は、骨折や入院、日常生活の不自由さにつながることもある身近な問題です。本講座では、理学療法士の視点から、転倒が起こる要因や予防の考え方について学びます。また、バランスチェック、筋力評価、転倒予防体操などの体験も交えながら、自分の身体機能への理解を深め、大切な家族や身近な人の安全な暮らしを支えるためにできることを考えます。	竹島 英祐	・プロジェクター ・スクリーン使用 ・PC持参 ・10～40cmの高さの台持参 ・メジャー持参		応相談	可
21	こどもの発達を支える理学療法士の視点	理学療法士は、医療・福祉・教育・地域などの様々な場で活躍し、こどもから高齢者まで幅広い世代の方々の暮らしを支えています。本講座では、こどもの発達を支える理学療法士の役割について紹介し、発達を観るための視点や、こどもと家族のウェルビーイングを支えるかかわりについて、みなさんと一緒に考えてみたいと思います。	長森 由依	・プロジェクター ・スクリーン使用 ・PC持参		可	可
22	動ける身体をつくるトレーニング講座	本講座では、運動パフォーマンス向上を目的に、身体の使い方やトレーニング方法について体験を交えながら学びます。スポーツや日常生活に活かせる身体づくりを目指します。	西村 卓朗	・プロジェクター ・スクリーン使用 ・PC持参		不可	可

No.	講座名	講座の概要	講師名	備考	受講者数について	オンライン対応	中学生対応
●経済経営学部/経済学科・マネジメント学科							
23	メディアリテラシーを身につけよう！	ニュースやSNSにあふれる情報は、私たちの考え方や行動、そして心の状態に大きな影響を与えています。同じ出来事でも、伝え方ひとつで「不安」にも「希望」にも変わることをご存じでしょうか。本講座では、元記者の教員が具体例を用いながら、情報の裏側を読み解く視点をわかりやすく紹介します。情報に振り回されず、自分の頭で考え、より良い選択ができる力を一緒に育ててみませんか。	志田 義寧	・プロジェクター ・スクリーン使用 ・PC持参		可	可
24	行動経済学のススメ うっかりさんの経済学	人は損得勘定して動いているように見えて、じつはそこまで厳しく損得勘定をしているわけではありません。「ダイエットしなくてはと思っていますもの甘いものを食べてしまう」、日常ついやってしまうことに焦点を当てる行動経済学の世界にご案内します。	島 義博	・プロジェクター ・スクリーン使用 ・PC持参		可	可
25	どうなっているの？ お金、経済、私たちの生活	たかがお金、されどお金。みなさんの生活とお金は、切っても切り離せない関係にあります。また、日本経済の動きと私たちの生活にも密接な関係があります。お金と経済とみなさんの生活がどのようにつながっているかを考え、みなさんの人生の将来に向けた準備についても考えていきましょう！	曾我 晃久	・プロジェクター ・スクリーン使用 ・PC持参 ・Wifi環境(可能であれば) ・マグネット ・サインペン ・グループワークあり		不可	不可
26	法令遵守と順法精神	社会や企業で必要な法令遵守(コンプライアンス)について事例で簡単に解説します。	森田 聡	・プロジェクター ・スクリーン使用 ・PC持参		可	可
27	持続可能な社会を 経済学で達成する方法を考える	経済学は医学のように直接ケガや病気を治す方法を教えてくれませんが、しかし、災害時の被災者や病気の蔓延を防ぐ方法であれば経済学を使って考えることができます。例えばどこに避難所を設置するのか、ワクチンを開発しようとしている企業にいくら支援を行うべきか、これらは経済学で解決できる問題です。さまざまな問題を未然に防ぐ方法を経済学を通して考えてみましょう。	斎藤 英明	・プロジェクター ・スクリーン使用 ・PC持参		可	可
28	平等な社会の実現方法を 経済学を通して考えてみよう	どうして世の中にはお金持ちの人とそうでない人がいるのでしょうか。あるいは、豊かな国とそうでない国があるのでしょうか。多くの人や国が平等な世の中の方が望ましいと口にするのにそれは実現しないのでしょうか。この授業では平等な社会を実現する方法を経済学の考え方を通して考えてみます。	斎藤 英明	・プロジェクター ・スクリーン使用 ・PC持参		可	可
29	デジタルツイン	現実世界の建物や風景を、コンピューターの中に「双子」のように再現する最新技術「デジタルツイン」。本講義では、この技術が能登の復興支援や防災、観光にどう役立つのかを分かりやすく解説します。後半のワークショップでは、スマートフォンアプリを使用して、身の回りのものをその場で3DCG化する「3Dスキャン」を体験。最先端の「工学技術」を、どのように社会やビジネスに活かしていくかを考えます。	田部田 晋	・プロジェクター ・スクリーン使用 ・PC持参 ・生徒のスマートフォン		可	可

No.	講座名	講座の概要	講師名	備考	受講者数について	オンライン対応	中学生対応
●人文社会学部/メディア情報学科 (2027年4月開設予定)							
30	日本の強みで世界を稼ぐ！ ～伝統文化のグローバル展開と 起業家精神～	衰退しつつある伝統文化（工芸・祭礼・芸能）を「守る」だけでなく、ビジネスとして「世界に輸出して利益を出す」ための実践的な戦略を学びます。世界市場に挑むアントレプレナーシップ（起業家精神）を養い、将来グローバルに活躍するための視点を身につけます。	荒木 由希	・プロジェクター ・スクリーン使用 ・PC持参 ・模造紙持参 ・カラーペン持参 ・付箋持参 ・グループワークあり		不可	可
31	「推し」が経済を回す！？ ～現代カルチャーから学ぶ、儲かる ビジネスとマーケティング～	「推し活」という身近な消費行動が、社会にどれほどの経済効果（お金の動き）を生み出しているのかを分析します。「ただ好きでお金を使う側」から「価値を見出してビジネスを仕掛ける側」になるための、大学レベルの経済・社会学を学びます。	荒木 由希	・プロジェクター ・スクリーン使用 ・PC持参 ・模造紙持参 ・カラーペン持参 ・付箋持参 ・グループワークあり		不可	可
32	企業が奪い合う人材になる！ ～300人を動かすプロジェクトと 「違い」を力に変えるチーム術～	大学生、小学生、留学生など年齢も国籍も違う300名規模のプロジェクトをどうまとめ上げるのか。現代のビジネスシーンで不可欠な「多様なステークホルダーとの協働（共生型プラットフォームの構築）」を通じ、どこに行っても通用するマネジメント力を学びます。	荒木 由希	・プロジェクター ・スクリーン使用 ・PC持参 ・模造紙持参 ・カラーペン持参 ・付箋持参 ・グループワークあり		不可	可
33	あなたはAIを使っている？ AIに使われている？ - “なんとなく使う” から 抜け出すAI入門 -	AIは、もう特別な人だけのものではありません。文系理系問わず毎日AIと関わる時代となってきます。だからこそ、「便利だから使う」で終わるのではなく、「どう使えば自分の力になるのか」を考えることが大切になります。では、どのようにすれば、AIを自分の「武器」として使いこなせるのでしょうか？AIの使い方を紹介しながら、自分の武器にするAIの使い方を一緒に考えてみましょう。	和嶋 雄一郎	・プロジェクター ・スクリーン使用 ・PC持参 ・生徒のスマートフォンを使ってデモをする		可	可
●人文社会学部/心理社会デザイン学科 (2027年4月開設予定) ※現在は心理社会学科							
34	ストレスの心理学	高校生活や人間関係の中で、生徒が「ストレス」に直面していることを目の当たりにしていると思います。中には重症から心が「ガス欠（バーンアウト）」状態になるケースもあります。ストレスはなぜ生じるのか、個人の考え方はどう反応を左右するのか、自分はどう対処すればよいのか。こうした疑問を心理学の立場から考え、自分をケアする実践的なスキルを学んでいきます。	後藤 和史	・プロジェクター ・スクリーン使用 ・PC持参		可	可
35	ネット炎上の心理学	企業や個人の不祥事に対し、SNSを中心にネット上で「炎上」が生じていることを目の当たりにしたことがあると思います。中には個人の不用意な発信から炎上が起こるケースもあります。こうした炎上はなぜ起こるのか、そこにはどういう人が関与しているのか、自分と炎上とはまったくの無関係でいられるのか。こうした疑問に心理学の立場から考えていきます。	小島 弥生	・プロジェクター ・スクリーン使用 ・PC持参		可	可
36	心の専門家：公認心理師の仕事	心理職の国家資格である「公認心理師」が活躍を始めてからおおよそ10年が経ち、この資格や仕事内容について見聞きする機会も増えてきました。公認心理師は、心理学の専門的知識と技術をもって国民の心の健康の保持増進のために働く仕事とされますが、実際にはどのような場所でのどのようなことをするのでしょうか。また、公認心理師となるための大学での学習や、心の専門家としてのやりがい・責任・難しさについても学びましょう。	向山 泰代	・プロジェクター ・スクリーン使用 ・PC持参		可	可
●人文社会学部/国際コミュニケーション学科							
37	国際関係を学んでみませんか	国際関係って何を学ぶのでしょうか？国際関係を学んで何の役に立つのでしょうか？グローバル化が進む現代社会のキーワードを解説していきます。	福山 悠介	・プロジェクター ・スクリーン使用 ・PC持参		可	可
38	ジェンダー平等について考える	日本で「ジェンダー平等」というと、「女性の権利主張(=わがまま)」だと考えられがちですが、実は、男性を伝統的な価値観から解放することにもなるのです。ジェンダーという言葉が生まれた歴史を振り返りながら、ジェンダー平等な社会について考えてみましょう。	相原 征代	・プロジェクター ・スクリーン使用 ・PC持参		可	可
39	お米は日本人のソウルフード？ 食と「らしさ」を考える	かつてお米は財力そのものを示し、庶民にとっては非日常的な「憧れ」であり「特別なもの」でした。しかし、米の消費が大きく減少した現代でも、私たちは「お米こそが日本人の魂だ」という言説を内面化しているように思えます。本講義では「伝統」がいかにして創造され、「日本人」という概念が食を通じてどう構築されてきたのかを考えます。当たり前の「食」に問いを投げかけることで、私たちが感じている「らしさ」の不確かさに触れてみましょう。	伊藤 梢	・プロジェクター ・スクリーン使用 ・PC持参		可	可